

LGBT 法連合会アンケート 回答

立候補者名 溝手顕正
所属政党 自由民主党
広島県選挙区
連絡先電話番号 082-511-3450

問1

3、将来入る可能性はある

LGBT に関する理解を深めるため、議員立法の速やかな制定を目指し、多様性を受け入れる社会となるよう努める。

問2

1、その人を尊重し応援したいと思う

正直戸惑いをおぼえることもあろうかと思うが、家族として受け入れたいと考えると思う。

問3

① 5、その他

先ずは、理解を深めるための基本計画を国が策定することを議員立法で検討。

② 5、その他

LGBT の問題を含め、いじめ防止対策推進法等を通し、総合的ないじめ対策を一層進める。いじめ等を決して許さないという考えの下、適切な学校現場での生徒指導のあり方や、人権教育をさらに推進することが求められる。また同時に学校現場で直接生徒と関わる教職員への正しい理解の促進に努める必要がある。

③ 5、その他

LGBT に関する理解を深めるための基本計画を策定し、議員立法の速やかな制定を目指す。

④ 5、その他

LGBT へのいじめだけに限らず、いじめ問題の解決は非常に重要である。いじめ防止対策推進法等を通し、LGBT を対象とするものを含め、いじめやハラスメントの防止を図る必要がある。法整備については検討が必要。

⑤ 5、その他

学校や労働相談窓口等において適切に相談・支援ができる体制が必要と考える。法

整備については検討が必要。

⑥ 5、その他

先ずは、現行の法制度を活用する。LGBT に対する差別や不当取り扱いを防止する法整備での義務化については検討が必要。

⑦ 5、その他

多様性の理解を深めるための議員立法を検討。公共施設については、行政での整備が必要だと言える。法整備での義務化については検討が必要。

問4

7、その他

憲法では、婚姻は両性の合意のみに基づいて成立すると定めている。同性間の婚姻制度を実現するには、現行憲法の改正が必要となる。

先ずは、国民全体の理解を広げることが必要であり、様々な議論検討を深め法整備やパートナーシップ制度についても慎重に検討していくことが必要と考える。

問5

LGBT の問題をはじめ、多様性を認め尊重していく社会の実現は必要不可欠。

法整備や制度の制定に関しては、様々に検討を要すると考える。

国としてもオープンな議論を行う必要があると考える。